

わかば通信



第 15 号

平成23年10月発行

東海村議会議員

越智たつや

議会報告

発行人：越智たつや後援会

日立市相賀町17-3

(日立製作所労働組合 日立支部内)

TEL 0294(26)0183

FAX 0294(26)0186

日頃のご支援に感謝申し上げます。

猛暑と節電の夏が過ぎ去り、過ごしやすい季節となりましたが、ゲリラ豪雨や大型の台風など自然の猛威に怯えさせられています。

東海村では、今秋より東日本大震災の経験を踏まえた、「地域防災計画」の見直し作業に着手する予定です。

～備えあれば憂いなし～

皆で知恵を出し合って、自然災害に強いまちづくりを進めましょう。



▲増改築によりリニューアルした村立図書館

越智辰哉

NEWS

～ 東海村行政の身近なニュースをお伝えします ～



台風15号襲来

深夜の避難勧告発令



▲翌朝になっても水位が上昇したままの久慈川

非常に強い勢力の台風15号は、9月21日午後から関東のほぼ全域を暴風域に巻き込みながら北上し、各地に大きな被害をもたらしました。東海村においても、21日夕方にかけて暴風域に入り、最大級の警戒を強めていました。

村役場では、深夜に入り雨風は峠を越えたものの、久慈川の水位が避難判断水位4.8mを越えて上昇したため、22日深夜2時10分、久慈川流域の住民(豊岡、亀下、竹瓦、坏土地改良区)413世帯、1200人を対象に「避難勧告」を発令しました。

避難所となった石神小体育館および白方小体育館には、最大で400名を超える住民が避難し、眠れぬ夜を過ごしました。

一時は久慈川の河川敷グラウンドが完全に水没し、最高水位が6.5mにまで達しましたが、東海村史上初の水害による避難勧告の発令は、明方5時30分にすべて解除され、大きな被害には至りませんでした。

災害はいつ起こるかわかりません。日頃から、避難場所の確認や飲料水の確保など各自の心構えも必要です。

合同庁舎解体など 補正予算を可決

平成23年9月定例会を、9月1日から9月22日までの会期で開きました。

今回は、平成22年度会計の決算認定を中心に、提出された議案を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決しました。



被災して使用不可となっている合同庁舎

まだまだ続く
災害復旧の補正予算

◆災害対策事業 (+1億1,700万円)

被災した東海中学校の校舎、合同庁舎1号館を解体するための工事費用です。年度内に解体を完了する予定。

◆自治集会施設建設等補助事業 (+1,750万円)

被災した緑ヶ丘自治会など集会所を補修するために必要な費用の一部を補助する費用です。

◇議会設備改修事業 (-2,930万円)

老朽化した議場の音響設備を改修する予定でしたが、住民生活に直結する復旧工事を優先するため、事業を先送りしました。

◇庁舎維持管理事業 (-1,500万円)

役場の障がい者用駐車場の屋根新設、および庁舎の屋上を補修する予定でしたが、住民生活に直結する復旧工事を優先するため、事業を先送りしました。

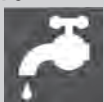


▲液状化によって傾いた集会所

水道料金改定が見送りに

6月議会の越智議員の一般質問において、平成24年4月から水道料金を10%程度値上げする方針が示されていました。

そして、9月議会において関連する議案が提出される予定でしたが、「震災復旧の最中であり料金改定の実施時期に好ましくない」との理由から、行政側は料金改定を1年間先送りするとの報告がありました。



Check!



「公共施設の自販機撤去」 運用の見直しに至らず

7月下旬に突然発表された村内公共施設から自動販売機を撤去する方針。

村立体育館などスポーツ施設利用者などから、「全数撤去ではなく、1台くらいは残すべき」などの意見が多数寄せられていました。

そこで、9月議会において、多くの議員から「運用の見直し」を求める議会質問を行いました。行政側の主張とは平行線に終わり、見直しには至りませんでした。





平成22年度
決算を認定

財政状況の悪化傾向を指摘

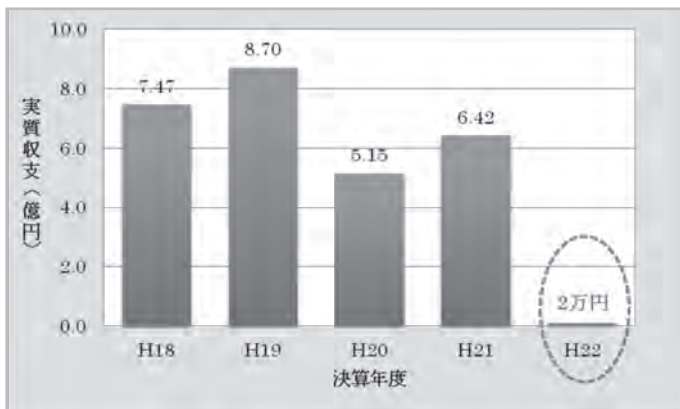
決算
審議

平成22年度一般会計決算額は、歳入172.6億円、歳出170.9億円となり、翌年度に繰り越すべき事業費を差し引いた実質収支は、僅かに2万円の黒字でした。長期デフレによる経済不況等により村税が約10億円の減少、平成22年度からスタートした子ども手当や高齢化による福祉扶助費の支出増が加わり、歳入歳出のバランスが崩れてしまいました。

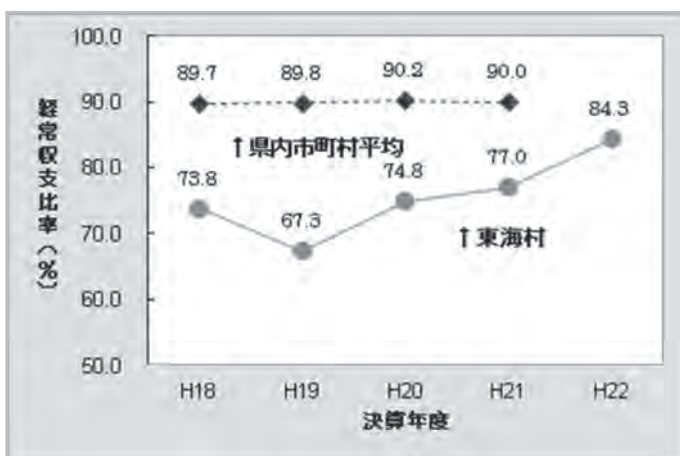
さらに、経常的な収入(村税等)に占める経常的な支出(人件費・扶助費等)の割合を示す経常収支比率も80%を超えてしまい、潤沢な財政状況が徐々に悪化傾向にあることがわかりました。

景気低迷や高齢化等の社会情勢により歳入減・歳出増の状況が続くことが予想され、また震災復旧にも大きな経費が必要となります。

今後は、支出を全般的に節減する努力を行うと共に、事業の選択と集中による財政の健全化に本格的に取り組む必要があります。



▲実質収支の推移



▲経常収支比率の推移

平成22年度の新規事業を振り返る

◆子ども手当支払い (8億5,100万円)



これまでの児童手当に加えて、政府の実施する「子ども手当」として、中学生までの子供一人あたり13,000円を支給する。

※支給対象者：のべ60,976人

◆災害時要援護者支援システム (1,536万円)



高齢者と障がい者のデータを一元的に管理し、防災地図情報システムとの連動を図ることにより、災害時の迅速な避難指示・救援行動を実施するシステムを構築しました。

※データ登録者数：540人

◆図書館増改築工事 (4億2,816万円)



築23年が経過し、収蔵能力やスペース等の確保が限界にきていることから、「出会いの交流の図書館」を目指し、従来の2倍のスペースに増改築しました。

(平成23年10月1日開館)

◆旧白方小学校・校舎解体工事 (8,295万円)



旧白方小学校の跡地を貯留池を含めた多目的公園として整備する予定であり、これに向け校舎ほか建造物を解体撤去しました。

(7月)

- ・とうかい元気市
- ・災害ボランティア活動(巨理町)
- ・久慈川クリーン作戦
- ・幸の実園草刈りボランティア
- ・臨時議会
- ・村政懇談会(中丸コミセン)

(8月)

- ・第33回東海まつり
- ・第8回須和間区自治会祭
- ・有志の会研修
- ・中丸地区わいわい祭り

(9月)

- ・9月定例会(9/1～9/22)
- ・村民の声に耳を傾ける会
- ・東海村敬老会
- ・中丸小学校運動会
- ・東海村の原子力と未来を考える
フォーラム

● 村民の声に耳を傾ける会(9/8)

越智議員の所属する会派「新和とうかい」では、多くの住民の声を村政に反映させるため、住民グループとの意見交換を行う「耳を傾ける会」を実施しています。

第3回となったこの日は、真崎コミセンに7名の住民が集まり、ゴミの分別など幅広い行政課題について意見交換を行いました。

皆さんから寄せられた素朴な疑問や意見をもとに、行政に提言していきます。



VOICE

～ リレーで綴る村民の声 ～



堀江弘志さん
(村松北在住)

結婚を機に東海村に引っ越してきて7年が経ちました。妻の実家が水戸で、自分が日立ということもあり、中間地点の東海村に住もうと安易な気持ちで東海村にアパートを借りたことが東海村移住の始まりでしたが、住んでみると、子供たちへの教育や医療がとても充実していることや、東海村民の人柄の良さに触れ、今では村松に家を建て生涯を東海村で過ごすつもりです。

今後、益々の東海村の発展を期待しています。

編集後記

先日、村の敬老会に来賓として参加した。受付を済ませてから、何気なく参加者の様子を眺めていたが、とにかく皆さん元気そのものである。終戦、そして戦後の復興を力強く歩んできた諸先輩方の表情は、実に生き活きとしていて、充実感が満ち溢れていた。友人たちと1年ぶりの再会を喜び合う姿も印象的であった。

今から20年ほど前、100歳を迎えた「きんさんぎんさん」という双子のお婆さんがテレビで話題となったが、東海村で100歳を超えた方は実に10名を超えた。長寿社会、超高齢化社会を肌身で感じる数字である。

気が付けば私も来年40歳。辞書を引くと40歳の異称は「初老」であるが、世間から「敬われる人」になるまでには、まだまだやることがたくさんある。

<N.>

お知らせ



このたび、ホームページを開設しました。タイムリーな活動報告を掲載しますのでぜひ、ご覧下さい。

越智辰哉 Official Web Site

<http://www.garan.ne.jp/ochi/>